

■2024年度 日本活断層学会賞

【受賞団体】熊本県 (震災ミュージアム「旧東海大学阿蘇キャンパス」)

【選考理由】

熊本県は2016年熊本地震後、震災ミュージアム基本計画に基づいて、「熊本地震の記憶を未来へ残し学ぶ回廊型フィールドミュージアム」を整備した。その目的は「熊本地震の経験や教訓を学び、風化させず確実に後世に伝承し、今後の大規模自然災害に向けた防災対応の強化を図り、熊本の自然特性を学び、改めて自然を畏れ、郷土を愛する心を育むこと」とされた。関連市町村と連携した複数の拠点を設け、それらを巡る回廊型のルートを構築している。

その中核拠点として、阿蘇地区においては地表地震断層により被災した旧東海大学1号館を保存し、2020年8月1月より一般公開を開始した。地表地震断層直上で直接被害を受けた建物の保存は極めて希であり、耐震化や建物立地を考える貴重な資料である。建物保存および公開のための整備においては、東海大学および熊本県が尽力され、公開後は南阿蘇市とも連携して地元ボランティアガイドが語り部を務める地域密着型の施設となった。

2023年には7月には、隣接する旧運動場敷地に体験型防災教育施設KIOKUが完成した。これにより防災教育機能が充実し、多くの来場者を集めている。このように、震災ミュージアム構想の中核拠点として、旧東海大学1号館の現物保存およびKIOKUの整備は、防災教育上のみならず学術上も高く評価できる。

以上の理由により、一般社団法人日本活断層学会の2024年度学会賞を授与するものである。